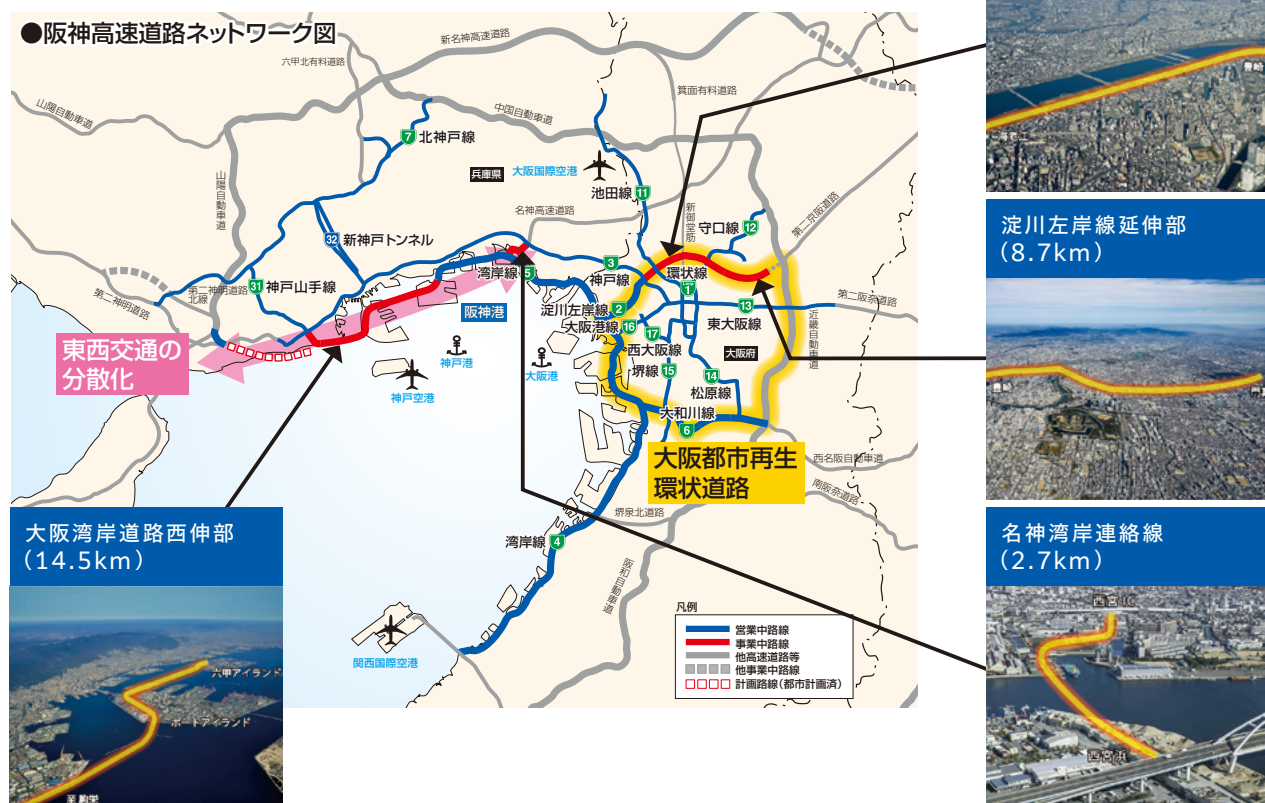


ネットワーク整備の推進(ミッシングリンクの解消)

阪神高速グループでは、お客さまの利便性向上、関西経済の活性化などに寄与するミッシングリンクの解消に向け、現在、淀川左岸線(2期)、淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部および名神湾岸連絡線の整備を進めています。

ミッシングリンクとは

ミッシングリンクとは途中で切れている高速道路の未整備区間のことを指し、高速道路は関西経済を支えるインフラとして、物流や観光などの関西経済の発展に大きな影響を与えるため、早期の解消が求められています。



ミッシングリンク解消による、暮らしと環境へのメリット

- 都心部などへ集中する交通負荷の軽減、移動時間の短縮
- 自動車交通の円滑化によるCO₂排出量の削減
- 事故や災害時の代替路を確保し、交通規制によるお客さまの負担を軽減
- 新たな物流・観光ルート整備による地域の活性化

PICK
UP!

建設事業の推進

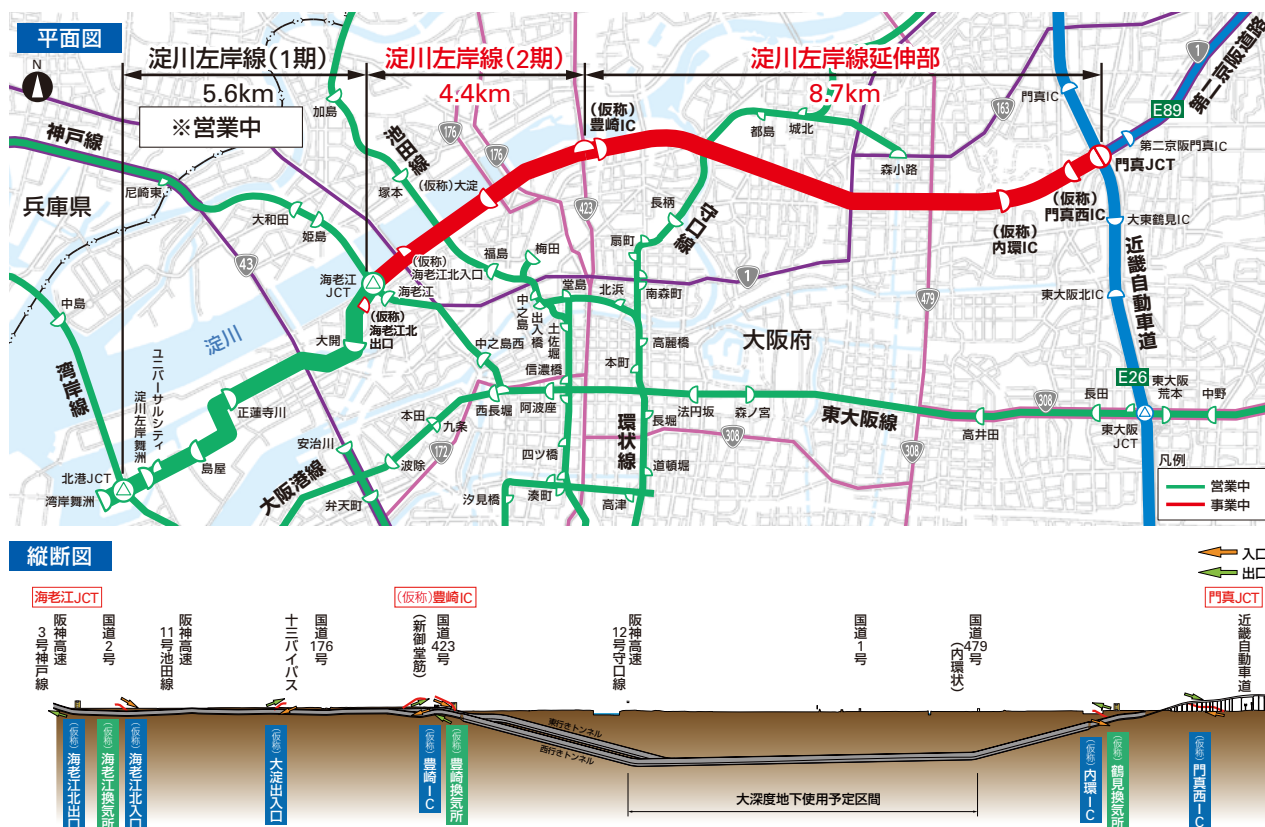
阪神高速ホームページでは、阪神高速道路の建設事業をわかりやすくお伝えしています。

詳しくはコチラ



「大阪都市再生環状道路」の完成を目指して～淀川左岸線(2期)・淀川左岸線延伸部～

「大阪都市再生環状道路」の北側の一部を構成する淀川左岸線(2期)および淀川左岸線延伸部は、大阪市や国、西日本高速道路(株)との共同事業で整備を進めています。住宅やライフラインの集中する都市部での事業であること、道路トンネルと河川堤防を一体構造とする区間が含まれること、大深度地下シールドトンネルとなる区間も含まれることなど、高い技術力を要する事業に挑戦しています。



淀川左岸線(2期)

- ◆ 営業中の海老江JCTから、(仮称)豊崎IC(国道423号(新御堂筋))までの4.4kmを結ぶ路線で、共同事業者である大阪市と事業を進めています。
- ◆ 本路線の大部分は開削トンネル構造で、河川堤防と一体構造とする計画となっています。
- ◆ 現在、阪神高速道路(株)においては、大阪市より受託した開削トンネルや換気所などの整備を進めています。また、2025年4月13日から10月13日までの間は、大阪・関西万博会場への駅シャトルバスやタクシーなどのアクセスルートとして活用されました。

P.63



豊崎受電所躯体工事(豊崎地区)

淀川左岸線延伸部

- ◆ 近畿自動車道の門真JCTから、淀川左岸線(2期)の(仮称)豊崎ICまでの8.7kmを結ぶ路線で、共同事業者である国、西日本高速道路(株)と事業を進めています。
- ◆ 本路線の大部分は開削トンネルおよびシールドトンネルによるトンネル構造です。淀川左岸線(2期)と同様に、一部区間で河川堤防と一体構造とする計画となっています。
- ◆ 現在、阪神高速道路(株)においては、豊崎側の開削トンネルやシールドトンネルの設計検討を実施しています。また、淀川左岸線(2期)との一体整備区間((仮称)豊崎IC付近)において地盤改良工事などを実施しています。



地盤改良工(豊崎地区)

東西交通を分散化する道路ネットワークの整備 ～大阪湾岸道路西伸部～

大阪湾岸道路西伸部は、阪神臨海地域の交通負荷を軽減し、交通渋滞や沿道環境などの交通課題の緩和を図るとともに、阪神港の機能強化による物流の効率化、災害や事故といった緊急時の代替機能確保などを目的に事業を進めています。大阪湾岸道路西伸部では、神戸港に2つの海上部長大橋を建設予定であり、これらは神戸の街並みに調和し、新たなランドマークとなることが期待されています。



大阪湾岸道路西伸部

- ◆ 大阪湾岸道路(垂水JCT～りんくうJCT)の一部を構成し、営業中の5号湾岸線の六甲アイランド端末部から、ポートアイランド、和田岬を経由し、長田区駒栄地区で営業中の31号神戸山手線へ接続する14.5kmの路線で、共同事業者である国と事業を進めています。
- ◆ 本路線は、神戸港の主要航路である新港・灘浜航路および神戸西航路を跨ぐ2つの海上部区間に長大橋を架設する計画となっています。
- ◆ 六甲アイランド地区では橋梁工事を、駒栄地区ではトンネル工事を実施しています。また、新港・灘浜航路部(六甲アイランド～ポートアイランド)を跨ぐ海上部長大橋においては、詳細設計を進めています。



開削トンネル工事(駒栄工区)

神戸大学との共同研究

六甲アイランド～ポートアイランド間に建設中の海上部長大橋は、神戸港の新たなランドマークとなりうる全長約2.7kmの7径間連続4主塔鋼斜張橋です。市民の関心や愛着を高める手法を考えることを目的として、2022年度から地元大学である神戸大学と海上部長大橋に焦点を当てた共同研究を実施しています。工学系・人文学系の多様な学生が参加することで、既成概念にとらわれない斬新な発想が得られるだけでなく、研究に参加した社員の人材育成や未来を担う次世代の育成にも寄与しています。



グループワークの様子

内陸部と臨海部を結び、ネットワーク機能を強化 ～名神湾岸連絡線～

名神湾岸連絡線は、3号神戸線・名神高速道路・5号湾岸線と一体となって機能し、内陸部と臨海部とを直接結ぶ大阪湾バイエリアの高速道路ネットワークを形成する路線です。



名神湾岸連絡線

- ◆ 3号神戸線・名神高速道路の西宮ICと5号湾岸線の西宮浜付近を接続する2.7kmの路線で、共同事業者である国、西日本高速道路(株)と事業を進めています。
- ◆ 本路線の大部分は高架構造であり、西宮港の海上部は航路を跨ぐ計画となっています。
- ◆ 現在、阪神高速道路(株)においては、海上部における構造検討や、3号神戸線および5号湾岸線への交通影響検討などを実施しています。また、国で行っている予備設計に参加し、既共用路線との接続方法についてなど、共同で検討を行っています。

VOICE

少しでも早い開通へ、大切にしていること

建設中の4路線は、国や大阪市などとの共同事業であり、阪神高速道路(株)単独の事業ではありません。全体の工事工程や個々の構造物の設計基準など、細かなところまで共同事業者間で調整しつつ、無事開通を迎えてお客さまにサービスをご利用いただけるよう、取り組んでいます。建設現場の近隣地域にお住まいの方、開通を心待ちにされている方へ、広報などを通して工事へご理解いただくことや、開通後も安心して地域にお住まいいただけるよう設計上の工夫をすることなどを、大切にしています。コスト意識を持ちつつ、より良い構造物を目指し、少しでも早い開通に向け進めてまいります。



阪神高速道路株式会社
建設事業本部建設企画部企画課
主任

小倉 冴香